

今治市（愛媛県今治市）

R4補正
R5当初

92

背景・課題

今治市の有機農業は、約40年の歴史があり、平成18年に制定した「食と農のまちづくり条例」に基づき有機農業を振興しているが、担い手の高齢化等により有機農業の次代への継承が課題となっている。

成果目標

- 有機農業の面積拡大（果樹）
（R4：37ha ⇒ R10：38ha）
- 有機販売量の拡大（給食使用量）
（R4：11,336kg ⇒ R10：19,607kg）
- 有機農業者数の増加
（R4：72名 ⇒ R10：82名）

取組の内容

生産

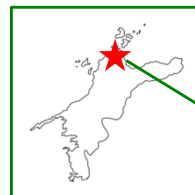
先駆的農業者のもとでの有機農業研修者受け入れを支援、一般市民や新規就農希望者向けの有機農業講習会を実施

流通

規格外の柑橘の果汁を使用した加工品製造に向けた農業者や流通業者等の調整

消費

小学生のサツマイモ植付け・収穫等の農業体験や収穫したサツマイモを使ったメニュー考案による食育、有機農産物を使用した給食の実施、有機農業PR・食育動画の制作、オーガニックビレッジの取組に関する市民アンケートの実施



今治市

構成員

今治市

品目

水稲、野菜、果樹



太陽熱消毒中のほ場

取組時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月



有機農業講習会



加工品製造



小学生の農業体験

普及に向けた取組

有機農業の担い手が高齢化する前に、新たな担い手を確保する。現状では慣行農業から有機農業に転換するケースはほとんどないため、移住者等の新規就農者を支援していく。

販路が、付加価値を認める都市部の顧客や富裕層向けだけでは有機農業の拡大は限定的であると思われる。産地の住民も購入できるよう、加工・流通ルートを開拓するとともに、消費者の有機農業に対する理解を深め、需要を喚起して消費を拡大できるよう取り組む。

問い合わせ先

今治市産業部農林水産課 TEL：0898-36-1542